



平成27年 6月 5日

国土交通省中部地方整備局

清水港湾事務所

名古屋港湾事務所

## 南米チリ共和国の港湾研究者が清水港、名古屋港を視察

### ～日本の「地震・津波の防災・減災対策」を学ぶ～

#### 1. 概要：

現在、独立行政法人国際協力機構（JICA）の地震・津波の防災・減災対策の研修の一環で、国立研究開発法人港湾空港技術研究所で学ぶチリ共和国港湾研究者2名が研究所研究者3名とともに6月10日に清水港、11～12日に名古屋港を視察します。

南海トラフ巨大地震や津波などに関心が高い中、国立研究開発法人港湾空港技術研究所において地震・津波等に関する最新の研究を行う国内外の港湾研究者を国土交通省中部地方整備局港湾空港部が受け入れ、清水港、名古屋港の地震・津波の防災・減災対策について説明します。

※ JICAは2010年チリ地震津波の直後から、緊急援助、技術協力プロジェクト、科学技術協力へと、チリ共和国側の時々の段階に対応した迅速な協力を切れ目なく展開してきました。中でも、多くの災害経験で培ってきた日本の防災技術に対して高い関心が寄せられており、総合的な防災情報システム、GPS波浪計による沖合津波観測、地上デジタル放送を通じた緊急警報放送など、日本のノウハウを伝える協力を実施しています。

※ 両国が経験した津波災害による悲劇を繰り返さないために、研究成果はJICAの防災協力や対外的な研究発表を通じて、世界の津波脆弱（ぜいじゃく）地域の被害軽減に貢献することを目指します。

#### 2. 取材日時及び場所

##### ①清水港

○平成27年6月10日（水）

午後14：45～15：30 清水港内（船上）

##### ②名古屋港

○平成27年6月12日（金）

午前10：30～12：00 名古屋港内（船上）

午後14：00～15：00 浚渫兼油回収船 清龍丸 見学（フェリーふ頭）

### 3. 取材申し込みについて

取材を希望する場合は、別添の「取材申込書」により事前にFAXにてお申し込み下さい。

申込み締め切り：平成27年6月9日（火）12時

※ 船の定員がありますので、取材希望者が多数の場合は、船内での取材について予め調整させていただくことがございます。

※ 天候の状況により、スケジュールの変更を行う場合があります。

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ  
静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、  
日本海事新聞、海事プレス

#### 【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 港湾物流企画室

室長 柴田（しばた）、課長補佐 澤田（さわだ）

Tel 052-209-6330 Fax 052-203-9739

清水港湾事務所 企画調整課

課長 堀池（ほりいけ）

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

名古屋港湾事務所 企画調整課

課長 板生（いたお）

Tel 052-651-6763 Fax 052-652-0303

国土交通省 中部地方整備局 港湾物流企画室 あて

FAX番号：052-203-9739

## 「JICAチリ共和国研修」取材申込書

申し込み方法：以下にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

取 材 日 時	① 6月10日(水) <input type="checkbox"/> 午後 清水港内視察
	② 6月12日(金) <input type="checkbox"/> 午前 名古屋港内視察 <input type="checkbox"/> 午後 清龍丸見学
会社名及び部署名	会 社 名 : _____  部 署 名 : _____
取 材 者  ※全員分の氏名・役職 を記入願います。	代表者氏名 : _____  役 職 : _____
	同行者氏名 : _____  役 職 : _____
	同行者氏名 : _____  役 職 : _____
連 絡 先  ※代表者の連絡先を 記入願います。	電話番号 : _____  FAX番号 : _____

**申し込み締め切り：平成27年 6月9日(火) 12:00必着**

※取材当日は、下記のとおりお願いします。

①清水港 6月10日(水)14:25~14:35の間に清水港湾事務所1階までお越しください。

②名古屋港 6月12日(金)

午前の部 10:10~10:20の間に名古屋港湾事務所1階までお越しください。

午後の部 13:40~13:50の間にフェリーふ頭までお越しください。